



『灯台の嘆き』

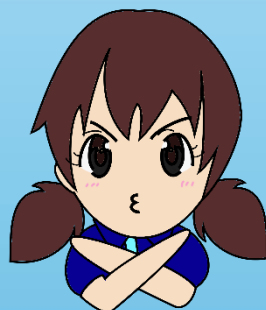
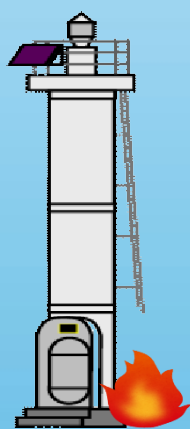
私は防波堤の先端に建つ
灯台だ。
私の周りにはいつも釣人でに
ぎわっている。
しかし、私の足元はごみ
だらけ。
焚火でやけどをしたり、固
いものが顔やボディーに
当たってよく怪我をする。

～解説～

一部のマナーの悪い釣り客に対する灯台の嘆きの物語です。

釣りのおもりが太陽電池パネルや灯器（夜光る部分）に当たり、壊してしまったり、灯台の下で焚火をしてタイルが剥がれるという事案があります。

損傷次第では**船舶の航行に支障をきたしたり**、当事者に損害賠償を請求する可能性がありますので、十分注意してください。



海の「もしも」は**118番**